



令和2年2月13日

「地盤の動きを常時監視する土石流センサーの検証実験」 に関する記者説明会と現地見学のご案内

広島大学防災・減災研究センターと株式会社計測リサーチコンサルタントは、土砂災害警戒区域における住民の警戒と避難に役立てるため、溪流内の地盤の動きを常時監視する土石流センサーを開発しました。

試作した土石流センサーの性能を調べるための検証実験を、熊野町川角地区大原ハイツ山側の溪流で開始しました。検証実験では、2年前に土石流が発生した溪流内にセンサー10個を設置して、地盤の動きをモニタリングし、クラウドに集積した情報を用いてパソコンから確認することができるシステムを運用しています。

今後3年間モニタリングを継続し、豪雨時の溪流における土砂の動きの計測・監視技術、モニタリング結果をわかりやすく表示し早期避難に活用する技術の開発を進める計画です。

下記の通り、町及び住民代表のご出席もいただき検証実験の説明会を開催しますので、ご案内いたします。

記

日時：2月19日（水）10時30分～11時00分

場所：熊野町町民体育館会議室（熊野町川角五丁目）

説明者：

防災・減災研究センター	センター長	土田 孝
〃	（工学研究科）助教	橋本涼太
株式会社計測リサーチコンサルタント	事業推進部長	梅本秀二
〃	事業推進部	大町正和

研究協力（熊野町総務部危機管理課、大原ハイツ復興の会、技術士会中国本部防災委員会）

※説明会終了後、希望される方にはセンサーを設置した溪流をご案内します。

溪流入口までは徒歩約10分。現地見学を希望される方は、動きやすく汚れてもいい服装（長靴等）でお越しいただき、ヘルメットも各自ご用意ください。（ヘルメットをお持ちでない方は事前にお知らせください。）

【お問い合わせ先】

■取材の申し込み先

広島大学防災・減災研究センター センター長 特任教授 土田 孝

Tel : 082-424-4312

E-mail : ttuchida@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 5枚（本票含む）

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室 広報部広報グループ 行

記者説明会

日時：令和2年2月19日(水) 10:30~11:00

場所：熊野町町民体育館会議室(熊野町川角五丁目)

ご出席 ご欠席
貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計名)

電話番号 _____

現地見学

日時：令和2年2月19日(水) 11:00~12:00

場所：熊野町川角地区大原ハイツ山側の溪流

ご出席 ご欠席
貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計名)

電話番号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、2月18日(火) 12:00までにご連絡願います。



記者説明会

場所：熊野町町民体育館会議室

現地見学

場所：熊野町川角地区大原ハイツ山側の溪流入口

参考資料

研究予算：(研)科学技術振興機構
西日本豪雨復興支援（A－STEP機能検証フェーズタイプ）

研究期間：2019年1月～2020年2月

研究課題：土石流対応ワイヤレスセンサーを用いた住民参加型 警戒・避難システムの開発

研究担当者：防災・減災研究センター	特任教授	土田 孝
//（工学研究科）	助教	橋本涼太
株式会社計測リサーチコンサルタント		事業推進部長 梅本秀二
//		事業推進部 大町正和

研究協力：熊野町総務部危機管理課
川角大原ハイツ自主防災会（代表：城後伸行氏）
大原ハイツ復興の会（代表：小川直明氏、役員：野田敏氏）
技術士会中国本部防災委員会（委員長：山下祐一氏、副委員長古川智氏）



図-1 熊野町川角地区大原ハイツ山側の溪流におけるセンサーの設置位置
（設置位置は土石流シミュレーションの結果を参考に決定しています）

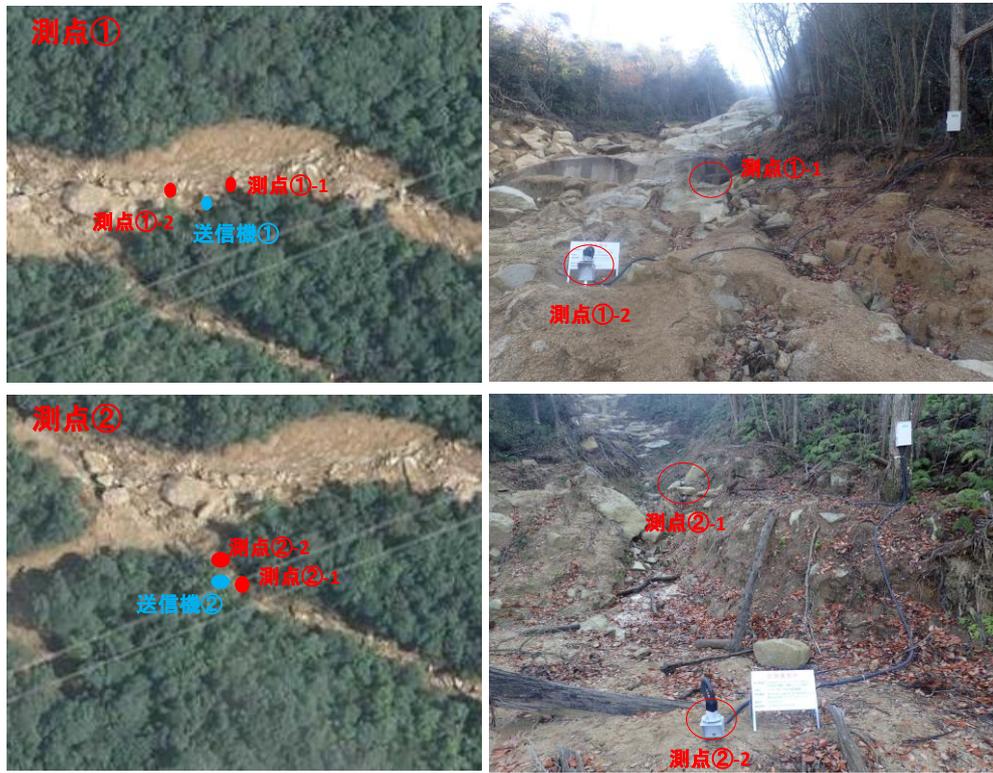


図-2 溪流内でのセンサーの設置状況



図-3 大原ハイツ内に設置した受信機



図-4 パソコンによる閲覧画面1（現状の溪流内の地盤変位）

*現在の地盤変位を示します。下流側に変位する場合に+の値を示します。一部の測点で通信状態により欠測となる場合があります、今後改善を図る予定です。

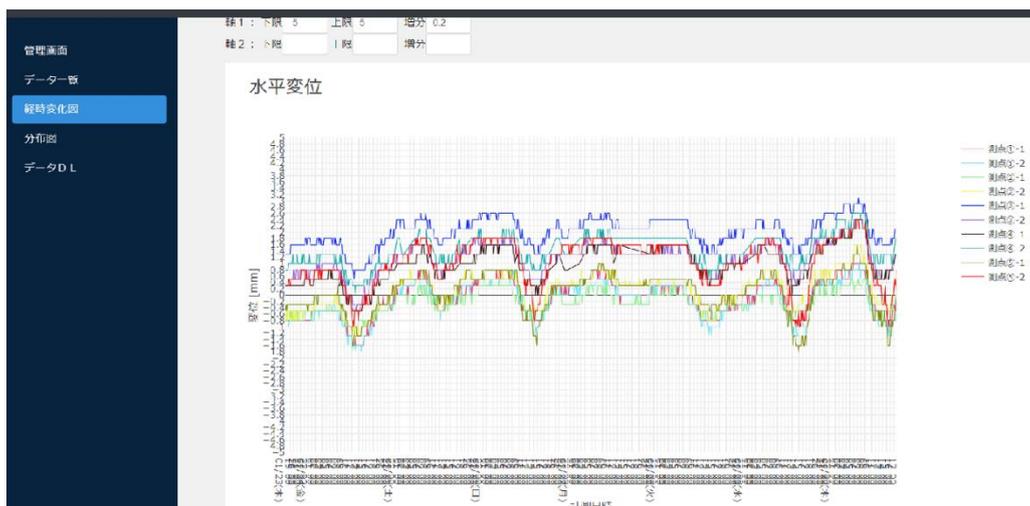


図-5 パソコンによる閲覧画面2（地盤変位の経時変化）

*1週間の変位を示しています。現在のところ温度変化により $\pm 2\text{mm}$ の日変動が観測されていますが、今後温度による補正を行い変動を小さくする予定です。また、スマートフォンから監視画面を見るシステムを開発中です。